



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 循環器内科 鈴木 隆宏

【研究責任者】

聖路加国際病院 循環器内科 鈴木 隆宏

循環器疾患患者に関する終末期ケアの評価研究

1. 研究の対象

下記、①か②に該当する方が対象となります。

- ① 2003年から2020年12月までに循環器疾患で緊急入院された全患者さんのうちのお亡くなりになった方のご遺族さんまた患者さんが対象になります。
- ② “循環器疾患患者に関する緩和ケアの質評価研究(QPH; Quality of Palliative care in heart disease: 整理番号 16-R156)” または “非がん患者に関する緩和ケアの質評価研究: 整理番号 17-R165” においてアンケートが回収されており必要なデータの収集が可能である患者さんが対象になります

2. 研究の目的・方法

緩和ケアは身体的、精神的、感情的、社会心理的な介入を提供するとともに、患者とその介護者の生活の質を改善することを目的とした学際的なアプローチです。緩和ケアは伝統的に癌患者と関連がつけられてきましたが、心血管疾患などの他の生命を制限する疾患の患者のケアにおいてもその重要性に焦点が当てられてきています。

近年の高齢化社会を鑑みても、今後の高齢化に伴う循環器領域の患者数増加が危惧されており、そこで、重篤な状態や突然死を含む急性増悪をきたしうる循環器領域においても心血管疾患への緩和ケアに対する需要が高まっています。

現時点で循環器領域の緩和ケアが必要な患者に対する適切な緩和ケア的介入に関する具体的な指針は明確ではなく、そこで緩和ケアの質の向上のためには医療現場で実際に行われている医療における緩和ケアの質の評価が求められています。循環器領域における緩和ケアの質の評価は現時点で十分に行われておらず、現在実臨床における緩和ケアの質を評価する研究を行うことが必要です。我々は既に遺族調査をこれまでに実践しており、これらの結果に関して、より詳細な患者背景・治療経過との関連性を評価することで実際の患者の緩和ケアの評価にどのような要素が関わっているのかを探索的に研究し、次にどのような介入方法が我が国・我々の病院で実装可能かを検討することが重要であると考えています。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2026年12月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 患者背景、血液検査、画像検査の項目、患者さんご遺族の家族関係、インフォームドコンセントの記録、電子カルテの記載内容の抽出（特に看護経過に基づく評価など）